

1. 2018年度事業計画

(1) 理事長基本方針



スローガン

DREAM!!

～夢を目標に、目標に日付を～

一般社団法人 小山青年会議所
理事長 大木 英 憲

人生は何にお金を使い、時間を使い、どんな人に出会い、一緒にいるかで決まると言う事を気づかせてくれたのは、この場所でした。

振り返れば、入会をさせて頂いてから今日までの6年間、様々な経験、多くのご縁を通し、多くの仲間を支えて頂き、育てて頂きました。

本気と本気がぶつかり合うことで、魂と魂がぶつかり合うことで、人は輝けると私は信じています。なぜなら、「人は人でしか磨かれない」からです。

時にはぶつかり、時には励まし、共に汗をかけた親愛なる仲間がこの場所に居たからこそ、私自身も成長をする事ができました。

私が第49代理事長として、この場に立てますのも、皆様のお陰であります。心から感謝を申し上げます。私の持つ情熱全てをぶつけ、メンバー全員がより輝き、小山JICが日本一のLOMであり続けるようみんなと共に挑戦をしていきます。

【時代を担う責任】

現在小山市は、北関東の拠点都市として、今や人口は16万5千人を突破し、地理的条件や交通の利便性などから、企業の進出・都市化の進展が著しく、県下第二の都市として大きく発展を遂げてきました。この事は多くの先人の方々を始め、小山市民の総合力の賜物と強く感じております。

しかし、今後小山市を更に発展させていく為には、時代の変化に伴い、その現状を捉え、一度立ち止まり、今を生きる責任ある世代の私たちが、次の世代に何を残していかなければならないのかを考え、しっかりとした戦略とビジョンを描く事が重要であると感じております。その描き方が、小山市の未来へのエネルギーになると私は確信をしております。小山青年会議所がこの地に誕生をし、約半世紀を迎えようとしている今、大きな転換の時を迎えていると強く感じております。

人口減少と共に、物質的な豊かさが減少をしていく中で、「今こそ変える勇気と守る誇りを持って」次の世代にも成長し続ける地域を目指し、挑戦していかなければなりません。その先頭に立つのが小山青年会議所であると強く感じています。

結びに、小山青年会議所が49年目を迎える歴史の中で、脈々と受け継がれてきた先輩諸兄の熱い想いに対する敬意と、今もなお温かく見守ってくださる気持ちに心から感謝を致します。

(2) 運動方針

【会員拡大～元気なところに人は集まる～】

小山青年会議所がこの地に誕生をし、約半世紀を迎えようとしてい

る今、私たちに課せられた使命と責任は大きなものがあると思います。設立当初から多くの先輩諸兄が、高い志を持って、脈々とその意思を次の世代へと引き継いできた小山JCの櫓が、会員数の減少により、厳しい状況へと追い込まれております。

「会員拡大において私たちはもうのんびり構えていられない」このままメンバーの減少が続けば地域社会における認知度は低下し、私たちの運動を反映させる事が厳しくなります。

誇り高き小山JCの櫓を次の世代にしっかりと渡す為に、メンバー全員で拡大に対する意識付けをさらに強め、様々な情報と意識をメンバー全員で共有し、メンバー全員で拡大に取り組んでいきましょう。拡大で賛同を得るためには、本気の熱い念いを伝えることが大切です。本気で伝えようとしているかどうかは、相手にも伝わりますし、上手に話すことが人の心を動かすとは限りません。むしろ不器用であっても、一生懸命に話す姿に人の心は動くのです。

私もメンバーひとりひとりの個性と魅力を輝かせられるよう、元気と活気で満ち溢れるチーム作りに、全力で取り組んでいきます。また、拡大会議を定期的に開催し、21名の会員拡大を目標とします。

【青少年育成～子どもに夢を～】

「大人が変われば子どもが変わる、子どもが変われば未来が変わる！」

子どもは、夢を持つことを諦めた大人の背中を見れば、夢を持つことに失望をします。

元気のない大人の姿を見れば、大人になると大変だと思ってしまうのです。この現実を少しでも変える為には、まずは、自分たち大人が変わらなければ、次の世代を担う子どもの未来は変わらないのです。その為にも、私達が子ども達に夢を与えられる存在になっていかなければなりません。夢が末広がり、大きくなっていくような地域になれるよう、子ども達に夢を与えられる事業を目指していきます。

【人づくり～前向きな行動が可能性を生む～】

2018年度は何事にも前向きに取り組める環境づくりと人づくりをしていきます。

青年会議所での全ての行動に、幅広い視野と新しい発想で失敗を恐れず何事にも前向きに挑戦をしてほしいと思っております。大切なことは、決めたことを最後までやりきる姿勢です。そんな人材を一人でも多く育てていける小山JCを目指すと共に、2018年度も集客に力を入れた研修事業を展開していきます。また、本気でぶつかり、情熱をぶつけられる仲間づくりの為、会員交流事業を展開していきます。

【まちづくり～愛する故郷の為に～】

「まちづくりは人づくり」と言われます。それは地域社会を創る、その原動力は地域の人の力であり、地域の連携団結が新しいまちづくりの原点であるからです。

今後、人口減少と共に、物質的な豊かさが減少をしていく中で、今こそ「勇気を持って変えるもの、誇りを持って守るもの」その見極めが重要であり、次の世代にも成長し続ける地域を目指した事業を展開していきます。

(3) 委員会事業計画

地域共創委員会

副理事長 磯山 貴志

地域共創委員会では、高久委員長の掲げるスローガンのもと、小山JCが長年培ってきた事業であります、わんぱく相撲と市民討議会を更

に成長させます。

担当という立場から、私の経験はもちろんの事、全ての小山JCメンバーの想いも委員長に伝え、委員長の描く事業の構築をサポートし不安を取り除き、新しい事にチャレンジする勇気を与えられるよう努めてまいります。また、その姿を以て、JCの魅力を発信し会員拡大も果たして行きたいと考えております。

委員会一丸となって何事にも取り組む所存ではありますが、何卒皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地域共創委員会事業計画

委員長 高久 敦史

【委員会テーマ】

守破離 ～伝統を守り、良いものを取り入れ、
そして新しいものを生み出す～

【事業方針】

当委員会では、「守破離～伝統を守り、良いものを取り入れ、そして新しいものを生み出す～」をスローガンに掲げ、伝統を継承し、他LOM、他団体、他事業の良いものを取り入れ新しい伝統を作り上げ、今後の青年会議所運営の一助となるよう委員会を運営してまいります。

例年行っているわんぱく相撲・市民協議会は既に小山青年会議所が市民と繋がることのできる看板事業です。漫然と事業を行うのではなく、創業時の想い・目的を勉強し、そしてより良くするための策を練ることが私たちの使命であります。それこそが地域で経済活動をする私たちが青年会議所を通じて成長することであり、地域に活性と夢を与える姿を市民に知ってもらうことに繋がります。

私たちの事業は、メンバー、他団体、小山市民の参加・協力が不可欠です。市民により近い事業を行う立場から、常に会員拡大を意識し、生き生きと活動し成長していく姿を地域に、そして次世代を担う子どもたちに伝えていけるよう精進致します。どうぞ1年間ご協力をよろしくお願い致します。

【事業計画】

1. 青少年育成に関する事業
2. まちづくりに関する事業
3. 会員拡大

【例会計画】

1. 4月 まちづくりに関する例会
2. 6月 わんぱく相撲 小山場所
3. 9月 市民協議会

【委員会事業計画】

1. 7月 わんぱく相撲全国大会に関する委員会事業

【事業予算】

事業名	予算額
まちづくりに関する事業	450,000円
青少年育成に関する事業	500,000円
合計	950,000円

小山の夢創生委員会

副理事長 古川 哲也

委員会では栗原委員長の掲げた「子どもの夢は小山の夢 子どもの未来は小山の未来」を委員会テーマに掲げ、メンバー全員で盛り上げ

る灯の舞例会、子どもに関する8月例会、そして卒業生及びメンバーの一年間の労をねぎらう卒業式及び忘年会、各種イベントへの参加を担当させて頂きます。

全ての事業においてメンバーのご協力を頂かなくては成り立たない事業ばかりです。メンバー全員に快くご参加して頂けるよう当委員会一丸となって頑張っております。

また、大木理事長の掲げるスローガン、基本方針、運動方針に沿う事業が行えるよう、委員会を一年間導いて参ります。そして栗原委員長を筆頭に当委員会がやりたい事業が行えるよう力の限りフォローして参ります。

メンバーの減少に伴い全ての委員会の例会・事業において委員会の垣根を越えて協力しそして大木理事長の拡大目標の21名を小山青年会議所メンバー全員で目指して活動していきましょう。

結びに、一年間皆様どうぞ、御協力の程宜しくお願い致します。

小山の夢創生委員会事業計画

委員長 栗原 真

【委員会テーマ】

子どもの夢は小山の夢 子どもの未来は小山の未来

【事業方針】

当委員会は今年度「子どもの夢は小山の夢 子どもの未来は小山の未来」をテーマに掲げ、大木理事長の「大人が変われば子どもが変わる、子どもが変われば未来が変わる！」の方針の基、子ども達が新たな夢を描いていけるような委員会活動を行っていきます。

その活動の核となる8月の例会では、小山の未来を担う存在である子ども達が楽しく、明るい夢を描けるような事業を行い、小山J C発信のもとで小山の未来を創りあげていきます。

そして、対外的に活動を発信する機会である7月の灯の舞、これまでの小山J Cを担ってきた先輩方を感謝の気持ちを込めて送り出す12月の卒業式及び忘年会という、重要かつ大きな例会を担うことによりこれまで守られてきた伝統を後世へと伝え、さらには通年の事業として各種イベントへの参加も行っていくことにより、大人たちも我々を通じて小山の新たな未来像を描いていけるような委員会活動を行います。

これら一連の例会・事業を行っていくことにより我々小山J Cの魅力を外部的により強く発信し、今年度の重要課題である会員拡大に一丸となって取り組んでいきます。

以上を当委員会の事業方針として今年度委員会活動を行って参りますが、どれもメンバーの皆様の皆様のご協力無しには成り立たない事業ばかりです。メンバーの皆様に快く参加、ご協力をいただけるよう1年間邁進いたしますので、何卒よろしくお願いたします。

【事業計画】

1. 子どもに関する事業
2. まちづくりに関する事業
3. 会員拡大

【例会計画】

1. 7月 灯の舞
2. 8月 子どもに関する事業
3. 12月 卒業式及び忘年会

【委員会事業計画】

1. イベントへの参加（通年）

【事業予算】

事業名	予算額
灯の舞	50,000円
子どもに関する事業	50,000円
卒業式及び忘年会	100,000円
合計	200,000円

相互研鑽委員会担当

副理事長 永嶋 浩太郎

今年度、相互研鑽委員会では大木理事長の運動方針に基づき、「自由闊達～視野を広く 柔軟に のびのびと～」をテーマに掲げ活動してまいります。人づくりの研修事業、強い絆づくりの会員交流、アカデミーメンバーが楽しく前向きな事業ができるようなアカデミー塾を展開していき、メンバー全員でお互いを思い、切磋琢磨しながら成長し続ける事業を、阿部委員長を中心に委員会メンバー一丸となって、全力で取り組んで参ります。どうぞ一年間、皆様のご協力よろしくお願ひします。

相互研鑽委員会事業計画

委員長 阿部 大記

【委員会テーマ】

自由闊達～視野を広く 柔軟に のびのびと～

【事業方針】

当委員会は会員交流、研修、アカデミー塾運営を通して、環境づくりと人づくりを重点に置いた委員会活動をしていきます。2018年度当委員会テーマに「自由闊達」を掲げ、視野を広くもち自らの価値観に凝り固まらずに、のびのびと柔軟な考えを理想とした活動をしていきます。大きな志を持ち、人に笑顔や喜びを与え、そして人を尊重できるような環境づくり人づくりを目指し人を呼びこめる研修事業を行い、会員拡大にもつなげていきます。

会員交流、研修事業を通して自己だけで終わらせず、会員が互いに研鑽を重ね2018年度小山青年会議所が目指す目標の実現に向け相互研鑽していきます。また、入会して1年目～2年目のアカデミーメンバーは、アカデミー塾を通して基礎知識を身に着け、諸先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ次世代へと繋げて行きます。

1年間よろしくお願ひします。

【事業計画】

1. 会員交流に関する事業
2. 研修に関する事業
3. アカデミー塾の運営
4. 会員拡大

【例会計画】

1. 3月 会員交流に関する例会
2. 5月 研修に関する例会
3. 10月 アカデミー例会

【委員会事業計画】

1. アカデミー塾の運営（通年）
2. 7月 献血事業
3. 11月 献血事業

【事業予算】

事業名	予算額
会員交流に関する事業	40,000円
研修に関する事業	100,000円
アカデミー例会	60,000円
アカデミー塾の運営	0円
献血事業	2,000円
合計	202,000円

事務局・財務局担当

専務理事 山本 雄大

本年度事務局・財務局は、大木理事長の基本方針・運動方針に基づき、各委員会が円滑に事業を進められる「環境作り」を意識して、事務局・財務局を運営して参ります。

また、各委員会の円滑な事業運営には、財政の健全化も重要です。財政の健全化への最も有効で本質的な解決方法は、やはり会員拡大ではないかと考えますが、無理な会員拡大ではなく、自発的に入会してもらえるような雰囲気作り（＝環境作り）が大切だと思います。小山JCIの良さが周囲に自然と伝わり、会員拡大につながるような「環境作り」も同時に意識して、事務局・財務局全員が一致団結して取り組んで参ります。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

事務局事業計画

事務局長 岩井 一博

【委員会テーマ】

縁の下の力持ち

【事業方針】

今年度の事務局では、『縁の下の力持ち』をテーマとして活動していきます。

小山青年会議所で行われる、各委員会の事業が、円滑に活動出来るよう、事務局一丸となってサポートしていきます。また、JCIや日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロック協議会などの情報をメンバーの皆様にも、迅速、正確に伝えられるよう運営していきます。

対外におきましては、ホームページ並びにFacebook等を有効に活用し、地域の皆様にも、小山青年会議所が魅力的な組織だと紹介できるようにアピールし、会員拡大に繋がるようにしていきます。

理事会並びに、各委員会を縁の下から支え、理事長の基本方針、運動方針のもと、小山青年会議所が、益々発展して行けるよう取り組んでいきますので、皆様、一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

1. 基本資料・諸規定の作成
2. 定時総会の開催
3. 会員拡大
4. JCルームの管理
5. 会員情報に関する事業
 - (1) 会員名簿の作成・管理
 - (2) 追加シールの作成（新会員の情報の記載）
 - (3) 名刺の作成（各委員会、LOM情報等を掲載し会員の拡大や交流に役立てる）
6. ホームページ・facebookの運営
7. 理事会・三役会の設営（資料作成・発送・会場設営・議事録作成）
8. 出向者に関する事業
9. 新入会員入会証伝達式

10. 部会の管理
11. 商工会議所ニュースの掲載
12. 年賀状作成・郵送
13. JCI (ASPAC・世界会議への参加希望者に対する資料の提供)
14. 公益社団法人 日本青年会議所 (京都會議・サマーコンファレンス・全国会員大会)
15. 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会
16. 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区栃木ブロック協議会
17. 公式訪問 (会頭公式訪問並びにプロ長公式訪問において設営を行う)

※14～17は諸会議への必要に応じた参加と、メンバーの参加意識の向上を図る。

【例会計画】

1. 1月 第一回定時総会・新年会
2. 7月 第二回定時総会
3. 11月 第三回定時総会

【委員会事業計画】

1. 出向者に関する事業

【事業予算】

事業名	予算額
ホームページ作成運用	70,000円
会員情報に関する事業	1,000円
出向者に関する事業	30,000円
基本資料・諸規定の作成	250,000円
定時総会 (第一回～第三回)	60,000円
新年会	150,000円
合計	561,000円

財務局事業計画

財務局長 綾部 篤

【委員会テーマ】

健全な財政の確立

～まちづくりをつないでいくために～

【事業方針】

本年度財務局は「健全な財政の確立～まちづくりをつないでいくために～」のテーマのもと小山青年会議所の財政を支えてまいります。

現在、財政は逼迫しており財政面の改革は喫緊の課題となっています。

当会議所が将来にわたるまで地域貢献やまちづくりを継続し、未来のメンバーにその糧をつないでいくためには、この課題は大変重要で会員拡大と財源の確保が急務となります。

財務局として、各委員会の事業が円滑に運営されるようサポートし、魅力ある小山青年会議所を周囲に知ってもらうことが会員数拡大につながり、財政面での改善が可能になると考えております。

本年度理事長の運動方針の一つに「会員拡大～元気なところには人は集まる～」とありますように、財務という立場から元気な小山青年会議所を伝えられるように力を注ぎ、次世代につなぐ大きな礎となる一年にまいります。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

【事業計画】

1. 収支予算書、収支決算書の作成・報告
2. 年会費の請求並びに賛助会員への会費徴収

3. 各委員会の予算管理
4. 領収書の発行・管理
5. 財務状況の報告（理事会等）
6. その他の財務に関する業務全般
7. 会員拡大